

次期愛知県観光振興基本計画（仮称）検討委員会 第2回全体会合 議事録（概要版）

■日 時

2024年2月1日（木）午後1時～午後3時

■場 所

愛知県議会議事堂1階ラウンジ
オンライン Zoom *ハイブリッド形式により開催

■出席者

●委員 ◎…委員長 ○…福井院長 (五十音順、敬称略)

所属・職	氏 名	形式
株式会社カーネル総研 取締役 コンテンツ・プロデューサー 中部圏インバウンドセールスプロジェクト 事務局長	あかさき まきこ 赤崎 真紀子	対面
日本政府観光局（JNTO） MICE プロモーション部次長	いたがき あやこ 板垣 彩子	オンラ イン
国立大学法人東海国立大学機構名古屋大大学院 情報学研究科 准教授	うらた まゆ 浦田 真由	対面
株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	えん せい 袁 静	対面
国立大学法人和歌山大学 経済学部 教授	◎おおさわ たけし ◎大澤 健	オンラ イン
有限会社パスト・プレゼント・フューチャー代表取締役	クリス・グレン	対面
名城大学 名誉教授	ふたがみ まみ 二神 真美	対面
東海学園大学ともいき教養教育機構・経営学部 客員教授	◎よこやま ようじ ◎横山 陽二	対面

*欠席：株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター長 沢登 次彦

日本薬科大学 特別招聘教授/内閣府クールジャパンプロデューサー 陳内 裕樹
欠席の委員へは事前にヒアリングを実施。

●オブザーバー（敬称略）

所属・職	氏名	形式
公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	にしむら 西村 てつじ 哲治	対面
一般社団法人中央日本総合観光機構 常務理事・事務局長	おぎの 荻野 みつたか 光貴	対面
一般社団法人愛知県観光協会 専務理事・事務局長	さかきばら 榊原 ひとし 仁	対面

●事務局（愛知県観光コンベンション局）

所属・職	氏名
顧問	武田 光弘
局長	阿知波 智司
観光推進監	浅田 甚作
観光振興課 課長	大参 孝彰
国際観光コンベンション課 課長	多田 花緒里
国際観光コンベンション課 国際展示場室 室長	鈴木 太郎
観光振興課 担当課長	小川 克信
国際観光コンベンション課 担当課長	安藤 嘉雄
国際観光コンベンション課 国際展示場室 担当課長	上田 茂

観光コンベンション局各課長補佐・室長補佐同席

■主な内容

【「あいち観光戦略 2024-2026（仮称）」（案）への意見】

1. 多様性の重要性

- 現状では性の多様性や食の多様性（ビーガン、ハラールなど）への対応の記述が不足している。これらの対応はこれまで以上に求められていくことになる。

2. 成功事例の共有と活用

- 大河ドラマを活用した誘客について、どの様に多様な主体を巻き込み、施策を進めたか、コラムとして記載し、これらの事例を今後の指針とできるとよい。

3. 戦略のストーリー展開

- 施策の進化により、客単価の向上を図り、労働生産性を向上することで、働き手の処遇改善、ひいては、業界の持続可能性につながっていくストーリーを示すとよい。

【「あいち観光戦略 2024-2026（仮称）」（案）に係る施策の提案について】

1. 広報戦略

- この戦略を浸透させるため、記者懇談会やオンラインプラットフォーム等で情報発信することが重要。また、ナラティブを用いた伝達効果の高い方法が推奨される。

2. 人材育成

- 事業者や学術機関、地域と協働しながら人材育成を進める必要がある。

3. 地域資源の把握

- MICE 分野でのユニークベニューや地域の観光資源、資源だけでなくその活用方法などをまとめたデータベースが必要。

4. インバウンドの高付加価値化

- インバウンド市場での高付加価値化を達成するには、富裕層のニーズに合わせたコンテンツの開発と実証実験が必要。また、施設側と自治体間の温度差の克服も課題。
- デジタルによる高付加価値なガイドプログラムの配信なども重要。

5. パートナーシップと推進方法

- 「内部広報」、「巻き込み」、「対話」と「トライアンドエラー」をキーワードに施策を検討。

【その他】

1. ロードマップの作成

- 観光に関わる様々なきめ細かな情報を関係者で共有できるロードマップを作成するとよい。